

まちと公共施設の未来をともに創造する
第9回小千谷リビングラボ「at！おぢや」

■日時／2022年7月27日（水） 19:00 -21:00

■会場／総合産業会館サンプラザ3階大ホール

概要

現在、小千谷市では、旧小千谷総合病院跡地（本町1）に図書館等複合施設の整備を進めています。この事業では、施設の整備段階から、市民のみなさんと行政が新しい施設の活用方法や地域の価値・課題などについてともに考えていく場として小千谷リビングラボ「at！おぢや」を立ち上げ、継続的な活動を通じてオープン後の施設活用と中心市街地の活性化につなげていくことを目指しています。2021年3月の第1回から開催を重ね、第2回以降は、設計事業者の(株)平田晃久建築設計事務所（東京都）から設計検討内容についてご説明いただきながら、そこから想像する施設利用体験のイメージを対話・共有してきました。これまでは土曜日、日曜日に開催してきましたが、第9回となる今回は、平日夕刻に「集まり動かす、地域にひらく」というテーマでゲストをお招きして開催します。継続してご参加いただいている方も、これまでご都合が合わなかった方も、いつもとは一味違った「at！おぢや」を、ぜひお楽しみください。

タイムテーブル

事業についての説明	19:00-19:10
実施設計の内容説明	19:10-19:30
リビングラボについて・オリエンテーション	19:30-19:45
ゲストトーク「集まり動かす、地域にひらく」	19:45-20:55
+ミニワーク	
カフェ機能サウンディング型市場調査について	20:55-20:59
まとめ	20:59-21:00

「集まり動かす、地域にひらく」



トークゲスト 萩原 修さん

つくし文具店（東京都国分寺市）店主。プロジェクトデザイナー。武蔵野美術大学卒業。大日本印刷、リビングデザインセンターOZONEを経て独立。著書に「9坪の家」「デザインスタンス」など。株式会社シュウヘンカ共同代表、明星大学デザイン学部教授。

<https://www.tsu-ku-shi.net>

<http://www.kokubunji-sanchi.net>

対話のルール

- 何を話してもいい。意見が変わってしまってもいい。
- 人の言うことに対して否定的な態度をとらない。
- ひととの対話の時間を大切する。発言は1回につき1分におさめる。
- 発言しないで黙って聞いて考えているだけでもいい。
- お互いに問いを投げかけることが大切。
- 知識ではなく、自分の経験にそくして話す。
- 話がまとまらなかったり、わからなくなってもいい。
- みんなで黙ってもいい。
- まとめなくてもいい。